

**授業概要**

本授業の目的は、保育所保育、幼稚園教育の内容を総合的・分析的に理解し、その成果を保育所実習や幼稚園実習に活かすことにある。

これまでの学習成果を土台にして、この授業では、保育所保育指針、幼稚園教育要領に示された保育内容について、実際の保育現場での事例を取り上げながら、具体的に授業・学習を進めていく。主に取り上げるのは、保育所の「養護」の内容、保育所・幼稚園に共通な「教育（5領域）」の内容である。専門的知識・技術の単なる理解に留まるのではなく、実際に活用できるようになるように講義する。

**授業計画**

第1回	ガイダンス。保育所保育と幼稚園教育の比較（両教育の目的、内容、方法を比較する）
第2回	保育所保育の内容と方法の理解（「養護」と「教育」の内容と方法について学ぶ）
第3回	応答的保育の理解（DVDを視聴し、意見を述べ合い、応答的保育の重要性について学ぶ）
第4回	発達と保育（生涯発達の視点から乳幼児期の発達を理解し、発達に相応しい保育を考える）
第5回	領域「健康」の内容理解と保育①（「健康」について学び、他領域との関連を理解する）
第6回	領域「健康」の内容理解と保育②（生活習慣形成の意義と指導内容・方法について学ぶ）
第7回	3歳児の保育の理解（DVDを視聴し、3歳児に相応しい保育内容・方法について学ぶ）
第8回	領域「人間関係」の内容理解と保育①（「人間関係」を学び、他領域との関連を理解する）
第9回	領域「人間関係」の内容理解と保育②（保育のカウンセリングマインドとEQ教育を学ぶ）
第10回	4歳児の保育の理解（DVDを視聴し、4歳児に相応しい保育内容・方法について学ぶ）
第11回	領域「環境」の内容理解と保育①（「環境」について学び、他領域との関連を理解する）
第12回	領域「環境」の内容理解と保育②（「環境」の内容に示された幼児の知的教育について学ぶ）
第13回	領域「言葉」の内容理解と保育①（「言葉」について学び、他領域との関連を理解する）
第14回	5歳児の保育の理解（DVDを視聴し、5歳児に相応しい保育内容・方法について学ぶ）
第15回	領域「表現」の内容理解と保育（「表現」について学び、他領域との関連を理解する）
第16回	15回の授業終了後、「評価方法」に基づき、定期試験を実施し、学習成果を評価する。

**到達目標**

- ①「養護」と「教育」が一体的に展開する保育を学び、実習で実践することができる。
- ②保育所・幼稚園の「保育目標・内容」と「子どもの発達」を関連付けて、保育の内容を説明できる。
- ③保育の観察方法や記録方法を習得し、子ども理解の基本技法を実習で活かすことができる。

**履修上の注意**

授業は基本的にゼミ形式で行う。従って各回の授業テーマについて、一人一人の学生に意見を述べてもらう。また、小グループでの話し合いも取り入れる。授業中の積極的な発言を大いに期待している。授業中の私語等、相応しくない授業態度については減点する。

**予習復習**

- ①授業で指示されたテキストの箇所、配布された資料（事例集）を事前に読んでおくこと。
- ②多くの資料を配布するので、復習としてノート整理（資料整理）をきちんとしておくこと。
- ③さらに興味・関心を深めた学生は、資料の自己学習の部分进行学习すること。

**評価方法**

主に以下の3点について、試験（80%）、授業内レポート（15%）、授業内の発言（5%）により評価する。  
 ○「養護」と「教育（5領域）」が一体となって展開する保育所保育の理解  
 ○「子どもの発達」と「保育の内容」との関連性についての理解  
 ○保育の観察と記録を通しての子ども理解

**テキスト**

- ①「保育所保育指針」 厚生労働省。フレーベル館。2008年。
  - ②「幼稚園教育要領」 文部科学省。フレーベル館。2008年。
- ※参考文献は授業で紹介する。